

大阪文化 新年号

obk 大阪文化協会



驚異のステレオ! スーパーフォニック

■大ホールで聞く音を そのまゝよみがえらせる
リバーブ サウンド システム —— 一流のコンサートホールは 天井や壁の巧みな音響設計によって あのすばらしいフンイキ (残響) が起るのです この残響を電氣的につくり 音に奥行と深みをプラスして 大ホールで聞くのと同じように お部屋の広さに関係なく イキイキとよみがえらせるのが この画期的な装置です

■音の広がりか思いのまゝ スプレッド コントローラー
ソロから交響楽…演奏や曲のムードによって自由に音を広げたり せばめたりできる ツマミーつで これまで味わえなかった音の変化を楽しめる装置です

■ほかに FM付オールバンド・OTL方式 など10大特長があります

HE-49 (2点一式) 正価 55,800円
ステレオラジオ50,800円 プレイヤーユニット5,000円



松下電器
ステレオ装置

季節のうた

あばら家や其身その儘明の春

小林一茶

新年といつてもとりたてて浮き浮きするわけではない。わが家もいつに変わらぬ荒れ放題、わが身もまた同じである。枯れた人生の味。

縫始め今暖めて来し手かな

中村汀女

年があけてはじめての縫いものを初針 縫初めという。今暖めて、来た白く荒くよかな手の情感。女性ならではの味わいをもつ佳句。

元朝や馬に乗りたるこちしてわれは都の日本橋ゆく
たなごこにめでたき春の片はしを置ここちする白き羽子かな

与謝野晶子

明治十一年十一月、堺市に生れた晶子は、二十二歳で情熱の詩人、鉄幹・与謝野寛と結婚。本来の華麗多才な資質をさらに開花させた。第一首は三歳のときのもの。意気揚々、押えがたい才気の昂りが感じられてほほえましい。第二首はよつやく四十代を過ぎたるの新春詠。昭和十七年五月、東京郊外で没するまでに、彼女の詠んだ歌は五万首にのぼった。



水間僧堂録
「アルゼンチンで考えたこと」
今 東 光…(2)

新春随想
「名前をつける」 香住 春 吾…(3)
「子…丑…レオポン」 土井 弘 之…(5)

アンケート
「大阪にいない浪花っ子」
各界六十八氏…(7)

人物大阪史
第一回「西行上人」 牧村 史 陽…(17)

大阪の橋
「天満から桜の宮を歩く」
石 浜 恒 夫…(22)

写真特集
「新」二題 富本憲吉・竹本津の子太夫 …(13)
短歌「春 感」 重 浦 春 水…(19)
季節のうた……………(1)

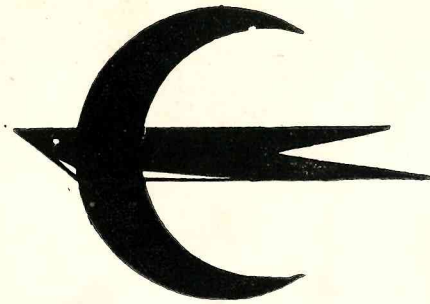
友の会会員のページ……………(25)
「寝言」吉嶋勉雄「相聞」大谷庄司「紙屑の街で」豊田満
表紙・中村貞以 カット・原田小次郎 真下 治

<大阪文化>新年号目次
1962年第1号 通巻第23号

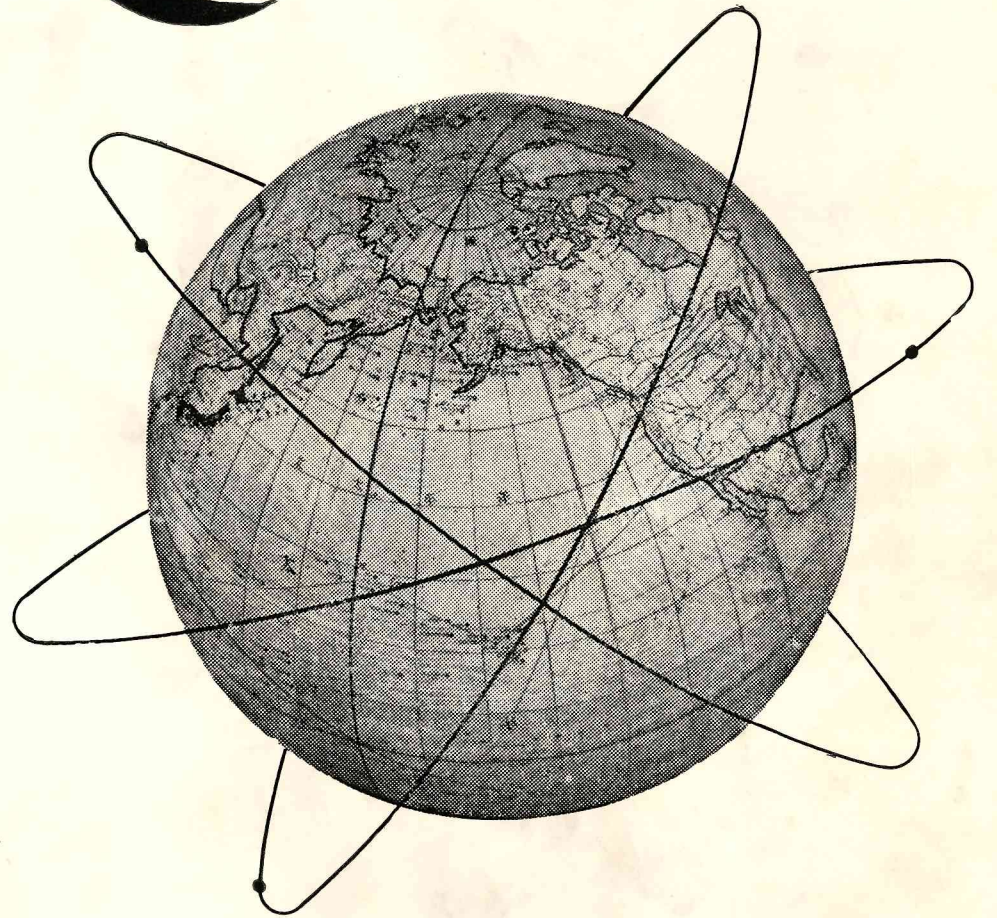
降る雪や明治は遠くなりけり

中村草田男

雪は二月の季節。晴れ間にもちろつく雪や、風の出はじめに少し降る雪のことは花といふ。この句、しんと降る雪を眺めながら、三代を生きて来た人生の感慨があややかに生きている。下句「明治は遠くなりけり」と同じ言葉を使った作品が、草田男以前にあったというので、いま俳壇を騒がしている。



つばめ印石油製品



丸善石油

取締役社長 和田 完 二
本社・大阪・長堀橋 支社・東京・大手町



檀にして来たトラ王家、このトラ王家にとってこのニ
ユースは将に晴天の霹靂であった。

あれから二年。

レオポン王家は鉄筋コンクリート、総ガラス張り、暖房付居室と寝室、プール、グラウンドを備えたアメリカンスタイルの瀟洒な住宅に転居された。そしてレオポンは蝶よ花よといつくしみ、はぐくみ、そだてられ、今では王子、王女の貫録を立派に具備するまでに成長し、先頃青年式を挙げられた。

レオポン王子の体重は一五〇kg、ポン王女は一二〇kg。母ギミゆづりの均整のとれた堂々たる体軀に、父ギミお貸下げのライトブラウンにセピアの梅模様を散らした豪華な毛皮のコロモをまとい、サンルームでベーターベンのエロイカに耳を傾けて居られる。健康には特に留意され、食事は二回。若牛の頭肉に鯨のシロ肉、豚のモツに鶏の頭、ミルクにバター、ホルモンにビタミン。週に一回はラビットのサシミがつくという献立である。日課は誠に厳格なもの。最近では父ギミのスパルタ式教育によりジュウジュツを会得され、免許皆伝の域に達せられた。又登木も水泳も誠にタンノウとなられた。そして王子には大王のシンボルである美ゼン?が房々と生い茂って来た。去る六月二十九日には更に第二王子、第二、第三王女が相次いで誕生し、レオポン王家のおよこびはヒトシオ。
ここ初めて昭和三十七年の正月をお迎え遊ばされたという訳である。

(甲子園阪神パーク園長)

「世紀の猛獣レオポン生まる」「世界のニューフェース、レオポン誕生」「地球上に初めて出現した人造猛獣レオポン」「父ヒョウと母ライオンの間に出来た混血猛獣レオポンデビュー」「ライオンよりもトラよりもクマよりも何よりも強いスーパーアニマルレオポン誕生」E・T・C。ニュースはあらゆるマスコミを通じて電波によって世界に流れた。

何億年もの間、皇統連綿として続いた名門トラ王家、不具戴天の敵、百獣の王と自称するライオン王家を遙か南方アフリカの地に圧迫すると共に、ヒョウ王家を隸属し、アジアを席捲、アジアの大王として、北は満洲、蒙古、朝鮮から南インド、ビルマ、タイ、マライ、バリー島に亘る二、〇〇〇万平方にも及ぶ広大な地域を領土として君臨して以来、今日迄榮耀華を

アート 大阪にない浪花っ子

(到着順)

〔質問〕 ①あなたの御生家の地名。現在どうなっていますか。②将来、郷土に帰り住むおつもりは?③一九六二年のあなたの御計画。

- 藤原 彰 夫
東京都板橋区双葉町二〇
東北大学教授
- ① 生家はなくなっています。
 - ② 今のところ帰郷するつもりはございませんが、仕事の都合でよく大阪へ参ります。
 - ③ 落付いて研究を進めたいと思っています。

那須 信 治
東京都渋谷区代々木一三三八
東大名誉教授・早大教授

- ① 大阪市東区備後町五丁目二十三番地名は従来通り。
- ② 今のところ郷土に帰ることは考えておりません。
- ③ 現職(早大教授)を続けて行くつもりです。

- 三 島 海 雲
東京都新宿区信濃町二六
カルピス株式会社社長
- ① 大阪府箕面市稲、教学寺。

- ② 郷土に帰り住む考えはありません。全国的なことを計画するには東京が便利ですから。また老後の慰安も東京附近が便利です。
- ③ 計画が実現してから説明いたします。

桂 小 文 治
東京都北区西ヶ原一丁目五二二
落語家

- ① 大阪市西区新町通り五丁目で生まれ、終戦翌年、昔恋しい新町へ出かけて行きましたが焼野原、只涙が出るばかり。只今は如何になっていますか。
- ② 帰るつもりは有りません。出演する落語の小さな席もなし、年に一、二回、道頓堀角座へ出演するのを楽しみに。
- ③ 大阪落語芸能人と東京の若手落語家との交流の片棒をかつく事をつづかす。

浪花 千 栄 子
京都市右京区嵐山三の三九
芸能(女優)

- ① 大阪府富田林市東板持。現存。従妹が住まい致しております。
- ② ございません。お仕事の往復には交通の便利が悪いからです。
- ③ 計画が大きすぎてここには書く事が出来ません。

上 野 一 郎
茅ヶ崎市東海岸五の四
映画評論家

- ① 堺市。戦災でなくなりました。
- ② 目下の所、ありません。仕事の関係で、東京近辺にいなければなりませんから。
- ③ 目下病氣療養中ですので、なによりもまずこの病気を直すことが第一です。

青 木 大 乗
兵庫県川西市花屋敷北ノ山三
日本画家

- ① 大阪天王寺。籍もあり、毎月墓にも詣ります。
- ② 何時、大阪に帰って住むかもしれません。只今の家は、しばらく腰かけのつもりです。
- ③ 毎年の東京及び大阪高島屋での個展は続けてやりますが、本年六月から三ヶ月の予定で欧州及びアメリカを廻って来るつもりです。

経済サロン

本社 大阪市東区谷町3丁目23(亀田ビル)
電話 (94) 8292・8729 (代表)

関西唯一の総合雑誌
—— 経済中心 ——

混迷する世相を超えて新しい秩序を求める志を保つ雑誌です。日本の経済、国民生活の発展を念願して編集

■ 新年号目次 ■

■ 社論 新年に提唱する (三宅秀明)

■ 将来的な経営

自由経済は生き残る

経営コンサルタント

● 丸一鋼管の場合

(田辺経営相談所長
吉村タキノ社長)

今東光大いに語る

● 反骨放談

美土路 全日空会長

● 新春問答

五島昇 東急社長

● 初夢談義

堤清 西武百貨店長

● 世界に伸びる日本の企業

女ひとりの道 吉村タキノ述

● 古美術講話 細見 良

● 沖繩見聞 西川章夫

岡 本 良 雄
東京都板橋区大和町三三
童話作家

- ① 安治川上通二丁目といったと思えます。現在の中央市場の中にはいつている筈です。
- ② 帰り住むことは恐らくないでしょう。帰るといふほど、大阪は遠くありません。また、身はたとえ異土にあっても心はいつも郷土にあるものですから。
- ③ 特別な計画はたてていません。子どもたちのためにより仕事を十年一日の如く考えているだけです。

井 上 友 一 郎
東京都世田谷区代田二ノ八〇七
作家

- ① 大阪市淀川区中津浜通二丁目となっています。
- ② 帰り住みたいとは思っていますが、事情が許さずさかどうか。
- ③ 相変わらず無計画で、その日暮して終るでしょう。

小 島 昌 太 郎
京都市上京区室町一条上ル
桃山学院大学理事・教授

- ① 従来通りで変更ありません。
- ② 戦災のため焼土と化し、旧来の面目全くなく、異郷と変らぬ様子ですから帰り住むつもりはありません。
- ③ 機会に恵まれるならば本年くらい欧州へ行きたいと思っています。

高安 国世

京都市左京区北白川小倉町五〇
京大助教・歌人

- ① 大阪市東区道修町四丁目。
- ② 考えておりません。地所も家もありませんので。
- ③ 毎年別に変った考えもありません。講義と研究と作歌と選歌と執筆と。

マダム・マサコ

東京都渋谷区南平台東急ビル・七五号
文筆業

- ① 大阪市の堀江ですが、現在どうなっているか知りません。
- ② 別に、将来、住むところというて、どこもまだきめていません。
- ③ なにも計画していません。多分、今年の運統でしょう。

大久保 作次郎

東京都新宿区下落合二丁目五四〇
洋画家

- ① 大阪府岸和田市内畑町に当主と其の家族が住んでおります。氏原姓であります。私は叔父の家をつぎまして大久保姓となっております。家は戦災にて焼失いたしました。
- ② 郷土には帰り住む意志はありません。それは画業のためであります。
- ③ 秋季には個展開催の予定であります。

橋岡 良夫

岐阜市外那加町水源地
岐阜大学教授

- ① 高槻市西面。

② いつの日にか暖かい山ふところには思っています。併しそれは遠い未来のことでしょう。

③ 一九六一年夏秋の研究世界旅行から帰って席の暖る暇もなく、国連の要請によってFAO(世界食糧農業機構)の専門家としてバンコックに一ヶ月間駐在、アジア及極東の稲の研究企画に打ちこむつもりです。

藤林 敬三

鎌倉市鎌倉山旭ヶ丘
慶大教授

- ① 南区八幡筋。私には不明。
- ② ない。仕事の関係、家族達のため。
- ③ 学校と労働委員会の仕事を従来通り行います。

八住 利雄

東京都世田谷区成城町七九二
シナリオ作家

- ① 東区道修町二丁目三三八、数十年前に破産、現在は当時のおもかげなし。
- ② 仕事の都合上実現は不可能。
- ③ 一ヶ月ほど自由な時間を得て大阪へ帰り、少年時代の記憶が残っている町々を片づばしから歩いてみることに。

岡崎 文規

東京都港区芝白金三光町五
竜谷大学教授

- ① 茨木市。生家には他人が入っていません。
- ② 茨木市へ帰り住む予定はありませんが、竜谷大学に勤務の関係上、一兩年

中に京都で居住のつもりです。

③ 国民の消費生活について統計的分析を試みたいと思います。

向井 久万

鎌倉市材木座二五七
画家

- ① 泉佐野市。生母在生。
- ② なし。住みたいと思わない。
- ③ その日その日を生きようと希うだけ。

黒田 重太郎

京都市北区北野紅梅町一三
京都市立美大教授・洋画家

- ① 滋賀県大津市柁屋町。よくは存じませんが、地名はそのまま残っているのではないのでしょうか。
- ② 生地は大津市ですが、数え年五つまでしか居りません。あとは大阪で少年時代を送ったのですが、現在のところでは生地や出身地に戻る考へはありません。多分京都で一生を終るだろうと思います。
- ③ 現在の画境をもっと推し進めること。具体的に云えば数年かかっている作を完成すること。

田中 克巳

武蔵野市吉祥寺二八五六
成城大学教授

- ① 今宮戎の西側堀河の南側だった由。
- ② ありません。「ふるさととは遠くにありて思ふもの」という岸星の詩を思い出します。

③ 東洋学をもう少し深くやりたいと思います。

① 大阪阿倍野区の松ヶ鼻です。小さいころ、住んでいた当時とあまり変わっていません。

辻 久子

神戸市東灘区住吉町

- ① いまの住居は神戸市ですが、大阪も神戸もひっくりかえり、このあたりを郷土と考えています。
- ② 新年だからといって、取りたてて新しい計画をたてるようなことは致しません。

田中 長三郎

神戸市東灘区住吉町瀬川一三二四の五
旧台北帝国大学名誉教授

- ① 北区堂島中二丁目。
- ② 神戸の自宅が暖かで静かですから動きません。
- ③ 五〇年来続けて来たミカン類の研究を続ける外、合間に人間の食用記録のある植物の集録(英文)を続けます。

足立 源一郎

鎌倉市大町二一四五
洋画家

- ① 大阪市東区博労町三丁目、三休橋筋東南角。どうなっているか見当が付きません。
- ② 全然なし。性格的に合わないのです。
- ③ 特別に何をしようと考えていません。今年久しぶりで行った欧州作品の

整理に精一ばいでしよう。

緒方 知三郎

東京都文京区曙町二
老人病研究所長

- ① 私の生家は大阪の北浜で、現在の緒方洪庵の塾跡です(惟準と申しまして洪庵の長男です。父が軍医監をしていたときに私は東京で生まれました。)
- ② 私は東大医学部の教授をして居ましたので退官後も東京で暮すことになってしまいました。現在老人病研究所の所長をしています。
- ③ 引きつづき老化の問題を研究するつもりです。

平瀬 己之吉

東京都中野区江古田四一八六九
明治大学教授

- ① 出生地は神戸市ですが、もの心ついてから訪ねたこともなく、どうなっているか知りません。大阪府池田市の本籍地の地名はもとのままのようです。
- ② 若い頃はあまり故郷をなつかしむ気はありませんでしたが、近頃ではさすがに関西の風土はなつかしく、停年退職にでもなったら帰り住みたいと思えます。
- ③ 専門が経済学です。今年には景気循環の問題を中心とした著作活動に生活をしほりたいと思っています。

森田 優三

東京都杉並区上高井戸五二〇七九
一橋大学教授

- ① 明治三十四年頃の安堂寺橋通御堂筋

ですが、今は多分御堂筋の道路のまん中でしょう。

② 大きな愛着を感じますが、仕事の関係、その他で大阪に帰り住むことはなれないと思います。

③ 格別ごさいません。毎日の仕事を地みちにやるだけです。

中村 順平

横浜市中区本牧三ノ谷九〇
フランス政府公認建築士

- ① 大阪市西区江戸堀南通二丁目。番屋敷、(私の家から百米位東方のすじ向うに小学校がありました。今もあるでしょう。)
- ② 江戸堀川が埋められなければ帰る気にもなり、ここを終焉の場所ともしたいと思いますが、川も生家も跡かたのない今日帰る気になり兼ねます。
- ③ 壁面彫刻の準備をする事。建築の設計をする事。「建築学」の原稿を調える事、等。

滝川 政次郎

東京都杉並区東田町二の一四九
国大教授・早大講師

- ① 第三大区駒上通二丁目が生家ですが、育ったのは西区江戸堀上通二丁目です。そこは戦災を免れ昔の通りです。
- ② 在東京四十八年、仕事の関係で大阪へ戻ろうにも戻れません。近大の出講で毎月一回大阪へ参ります。
- ③ 別に計画はありません。できるだけ

早く学校をやめて著述三昧で暮したいと思っています。

① 河内金剛山下、富田林市。現在別宅があり、次男が居住しております。

② 勿論郷土に帰り住み、老後を養うつもりです。

③ 農業基本法の成立と共に、秩序ある平和な新農村の建設に尽したく存じて居ります。

田中 万逸

東京都渋谷区栄通二ノ一
全国農地解放者同盟会長

- ① 曾根崎上一丁目。そのまま。但し、番地は少し変わっています。今も家あり。
- ② 老後はねえ。十年も先きでしょう。当分は働かねばなりません。
- ③ このところテレビが忙しく、芝居づくり、小説——という順序で。

長谷川 幸延

市川市八幡三の一八〇四
作家

- ① 生れたのは大阪南区灘波ときいています。堺市湊で育ちました。
- ② 大阪には嫁いだ姉と寡婦の妹がいるだけ。郷土に帰り住むことはありません。
- ③ 身近雑事をできる限り切りすて、ロシア文学の学問的研究に専心したい

黒田 辰男

横浜市長北日吉町四四七
早大教授

- ① 昔の通りです。天王寺区北河堀町七
- ② 今の処ありません。
- ③ 四月にロサンゼルスで拙作オペラ「修禅寺物語」が上演されますので一寸渡米します。秋にはオラトリオ「古事記」を発表します。

清水 脩

東京都杉並区西荻窪一四二
作曲家

- ① よく知りませんが「北新町」は変つ

ていないと思います。(生れた所は東区新町一丁目二八番屋敷)

② ありません。東京に定着してしまいましたから。

③ 三月末に東大医学部を定年退職する。ほかは計画らしいものはまだたっていない。

汐見三郎

京都市左京区吉田神楽岡町六

京大名譽教授

- ① 大阪市西区京町堀通三丁目五番地。戦災で焼失、すっかり昔とおもかげがちがってあります。
- ② 住んでみたい希望はあります。祖先伝来の土地でしたから。
- ③ 近畿広域経済圏の研究。

由起しげ子

東京都世田谷区世田谷五の二九二〇

作家

- ① 当時は泉北郡浜寺公園番外十一番地とか言ったように思います。先年行きましたら、土屋さんとかおっしゃる金属会社の社長さん宅になっていました。モノすごい石垣やガラスの破片で嚴重に囲まれて、ただ松の木だけが見られました。でも多分昔の敷地のままらしくあったのをうれしく懐しい気持ちでながめてきました。
- ② 浜寺は私の有った土地で、私はあれほどなつかしいところはありませぬ。きつといつかはここへ来て住みたいと、長い長いあいだ思っていました。

が、この間行つたとき、あまりひらけて別天地の感があり、今ではそれ程に思わなくなりました。

③ 仕事を出来るだけ一生懸命にやりたいと思つていますが、私の場合病気の子どもいますので、そういうものの仕合せも考えて努力するつもりです。

萩原雄祐

東京都目黒区三谷町二八

京都農大校長

- ① 南区長堀橋筋一丁目卅七番地。邸をひき下げたので、今は電車道になってあります。堺筋。
- ② ありません。
- ③ 学長の仕事の他に著書をかくつもり(英文)、ソ連での国際会議出張(八月末)

信時潔

東京都下、国分寺町本多二七〇

作曲家

- ① 西区江戸堀三丁目。わかりません。
- ② ありません。もう引越はおっくうです。
- ③ 別段ありません。まあ、これまで通りでしょう。

番匠谷英一

東京都豊島区目白町四ノ四三

立教大学教授

- ① 泉野市春日町です。家もまだそのままにしてあります。
- ② 都合によりいつでも帰郷する用意は出来ておりますが、職務や仕事の関係

で当分ずっと東京に住むことでしよう。

③ 間口をずっと狭くして深く掘り下げたいと思つております。日暮れて道遠しですからね。

正野重方

埼玉県浦和市仲町五の十一

東京大学教授

- ① 難波南海駅の少し北の方で、多分今は電車通りになっていいると思います。
- ② 未定。定年迄十年ありますので、その間に考えたいと思つてます。
- ③ 現在とりかかっている気象学の新しい分野を強力に開拓します。未完成の著書を仕上げたいと思います。

山本為三郎

東京都目黒区駒場町八六一

朝日麦酒社長

- ① 大阪市東区道修町。今はありません。
- ② ありません。
- ③ 特にありません。

鈴木木誠

東京都新宿区下落合町一四六四

多摩美術大学教授

新制作協会会員

- ① 生れたのは東区北新町。八才迄徳井町。その後、阿倍野区天王寺町明治通り。どうなっているか知りたい所です。
- ② ありません。仕事の性質上。

二反長半

東京都杉並区下高井戸四の九四一

作家

- ① 大阪府三島郡向井村字福井一、一一六(現在、茨木市福井) 弟が跡をついで農業をやっています。母、八十一才で健在です。
- ② ありません。
- ③ 児童文学・民話などもやりますが、多年懸案の小説を書きはじめます。

河井醉名

東京都目黒区中目黒二の五八〇

詩人

- ① 大阪府堺市北旅籠町大道東側に生る。現在、松本由太郎という人が住んで居ます。
- ② 帰るつもりなし。
- ③ 満八十八才になりますので、無恙過ぎたいと思つています。

庄野潤三

川崎市生田九〇八八

作家

- ① 帝塚山。そのまま。
- ② 出来れば、そうしたいと思つています。気候・食物が合うから。
- ③ いつもの年と特に変わりありません。

寿岳しづ

京都府乙訓郡向日町西向日

随筆家

- ① 大阪市内で生まれたのは確実ですが、その頃、両親(旧和歌山藩士)は

③ 馬齢を重ねた割に、仕事が進んでいません。具象の作風を一層、鮮明に積みまます。

西山卯三

京都市左京区下鴨北園町一〇七

京大教授

- ① 此花区西九条(朝日橋通り一丁目) 最近いかな。西九条は環状線の要所だが、第二室戸台風では第一の時と同じ様に水びたしになった写真を見た。
- ② 大阪はいいところである。しかし最近京都市にすみなれ、時々大阪に出てこればかなわぬと思う。ガソリンの臭いのにまいる。そういう無神経な環境破壊がチェックされる世の中になれば、大阪へ帰る時がくるかもしれない。
- ③ 「現代日本住宅史」をまとめた。レクリエーション計画の研究をもつとすめたい。その他計画は山ほどある。

東竜太郎

東京都渋谷区松濤町一五

東京都知事

- ① 東区南久太郎町三丁目九十一番屋敷。戦災でなくなりました。現在は銀行が建っています。
- ② 帰り住むつもりはありません。恐らく一生を終るまで東京で仕事をすることになります。
- ③ 東京都政に没頭いたします。

転々と家をかわっていますのでわかりません。

② ありません。今の家を「はてのすみか」と思っています。

③ 夫と一緒にオズボーン夫人の「古風な恋文」を翻訳すること。

河西太一郎

東京都杉並区萩窪二の一五二

立教大学名誉教授・常務理事

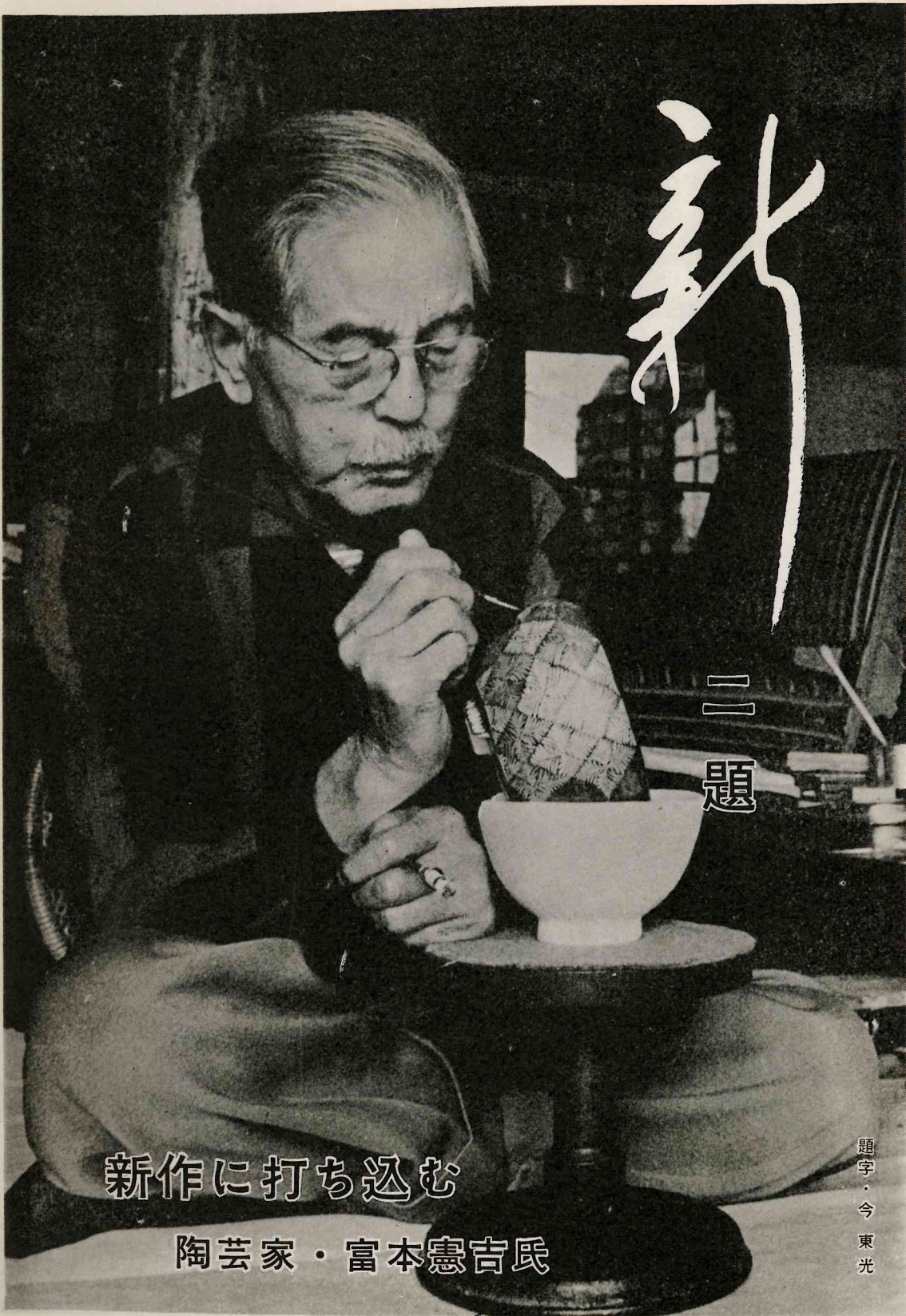
- ① 大阪府泉北郡南松尾村字松尾寺。現在、和泉市松尾寺町。
- ② その考へはありません。
- ③ 立教大学常務理事の外、文部省・大学設置審議会常任委員、大学基準協会常務理事および私立大学連盟常務理事としての職責を一層精力的に遂行すると共に、自分の専門の研究を更に発展させるつもりです。

西本三十二

東京都三鷹市大沢一五〇〇

国際基督教大学教授・日本放送教育会会長

- ① 松原市上田町となって、反正天皇にちなむ反正山というのになくなっています。
- ② 多分帰れないでしょう。それは日本放送教育協会、日本通信教育学会の事業は、東京を離れる事を許さないからです。
- ③ 一、三月にはパリで開かれるユネスコ主催の新しい教育技術に関する専門家会議に日本代表として出席、



新

二題

新作に打ち込む
陶芸家・富本憲吉氏

題字・今東光

帰りに五度目のアメリカ訪問。

二、四月にはアジア諸国の教育ミデア調査の会議主宰（東京）

三、七月には全国視聴覚教育会議と全国放送教育会議主宰（東京）

四、本年後半の予定は未定。

北野 熊喜男

神戸市東灘区本山町中一〇七
神戸大学経済学部教授

① 堂ビル附近です。

② 阪神間にいますから、郷里にいるのと変らぬ気持です。

③ 欧米一周旅行を計画しています。

川端 康成

鎌倉市長谷二六四
作家

① 天満此花町ですから、現在どうなっているかわりません。

② 大阪市に帰り住むつもりはありません。

③ なるべく怠けたいと思います。

松村 達雄

東京都三鷹市牟礼一八八
東京大学教養学部教授

① 南区心斎橋筋一の四三。十合百貨店つづく、河内洋画材料店その他を含む一劃です。

② 現職を停年退職するまで帰住の見込みなし。

③ 専攻の英文学の著書を一冊まとめることと、世界文学の全集の翻訳を一冊出すこと。

出すこと。

安井 琢磨

仙台市堤通一〇二
東北大学経済学部教授

① 旭区中宮町

② 定年に近くなったら考えてみようと思えます。

③ 過去一年近く滞米していましたが、そのときの仕事をつづけるつもりです。

飯田 信夫

東京都杉並区永福町五三
作曲・指揮

① 地名は前のままで、家はあります。

② 目下の所、帰り住む意志はありません。東京に根を張ってしまいました。

③ 波のまにまに、風のまにまに。

榎茂 都陸平

京都市上京区烏丸一条上ル
舞踊榎茂都流家元

① 大阪市南区大宝寺町鍛冶屋町南入。近代的な町並となり昔の俤はありません。

② 戦後の住宅不足で京都へ引越しましたが大阪に稽古場を持ちたいと思えます（個人の）大阪の流儀として（うめもと）と名乗ったのですから。

③ 日本の古典舞踊の研鑽とともに、新しい舞踊の創作をいたしてみたいと思えます。

います。

垂水 克己

東京都世田谷区赤堤一ノ五
最高裁判所判事

① 「いわばしる垂水の上のさわらびの崩えいづる春になりけるかも」という志貴親王の御歌は、摂津の垂水の滝のことを歌ったものだといわれています。千里山住宅ができて滝の水源がかわれた今は、垂水は吹田の大字の名に僅かに残っていて、数十年前のようにどの家にも堀貫井戸の水が昼夜流れていた風物は今は消えまじた。

② 私は在京すでに四十六年で帰りたいも帰れません。

③ 何か啓蒙的な裁判についてのやさしい本でも書けたら書こうかと思っています。

野田 又夫

京都市左京区松ヶ崎三反長町六
京都大学教授

① 東成区南中本町一丁目。

② そのつもりはありません。父母ともその地のものでなく、私も割合早く生地をはなれましたから、縁がうすいというべきでしょうか。尤も十余年そのままでずっと大阪に居たので、大阪には親しい感じをもっています。

③ 相変らず研究（哲学）をつづけるつもりです。

浜田 稔

東京都文京区賀籠町二二三
東大教授

① 東区大手通一の四〇。

② 目下のところありません。

③ 定年退職につき、目下考え中。

乙羽 信子

東京都港区芝白金今田町一〇
一木村アパート四〇一号
俳優

① 大阪九条、小さいとき離れましたので、その後のことはわかりません。

② ごさいません。お仕事の都合上、東京の方がよいのです。

③ 昨年は眼をわずらいましたので、しみみ身体を大切にしながら、よいお仕事を続けたいと思います。

小松 太郎

鎌倉市大町一、二三七
ドイツ文学者

① 大阪市東区とだけで所番地ははっきりわかりません。もの心がついてから小学校を出るまでに三度引っ越しをしたことだけ記憶しています。

② 大阪は父の任地先であったため、親戚もなく、帰るべき家もありません。この間、ひさしぶりで大阪へ立ち寄る機会があり、大阪城の近くにあった小学校のへんをながめました。むかしの校舎はなくなっていました。

③ ケステンの「カザノヴァ伝」と、まだ邦訳されていないケストナーの作品を訳したいと思っています。

啞然とせざるをえなかった。信子、敬子、義子、和代、綾子などと言っただが、昇市にとつてそのような女の人は、いっことに自分の記憶にない人ばかりだった。まして会社でも模範青年でとおっている昇市には女でいりなどあるうはずがなかった。

だがそんな女の人は、自分には全然知らない人であり、自分の周囲にそのような名前の女の人が、じっさいあるのか、ないのかあるのかわからない名前にせよ、新妻がそれを聞いたならば、ただではすまないだろうと思うと、今でもおちおちテレビを見てはゆかかなかつた。

ダブルのマットレスに二人、体を初めて横たえてからも、晩酌をして横になれば昇市はすぐ眠れるはずなのに、眠れなかった。初夜とはこのようにかた苦しう感ずるものだろうかと思つた。昇市は今朝からの疲れを感じたが、貞子よりも早く眠ることも出来ず、貞子が寝入ってから自分も眠ろうと思つた。

初夜の夫婦のいとなみは、昇市のみが喜びを感じ、貞子は哀れにさえ思われた。昇市は疲れを感じ、上と下の臉を合わせる

市はもう一度起き上り、一人で浴室に入つてじつとそなたかぶる神経をしずめようとした。体を少し動かすたびに湯が大きな音をたて浴槽をうずめた。昇市はその湯の音が宿の人達に聞こえ、へんに思われはしないかと思ひ、じつと風呂につかっていた。母や兄弟が自分の寝言のことを教えてくれなければ、こんなに自分一人だけが苦しむことはなかったらうにと思つた。昇市の寝言は寝言として、昇市の耳に入れないように、影で笑つてくれればよかったのだと思つた。

のまになつていいるビールを飲み始めた。しかし、一度飲み初めてから便所に行くと、昇市は貞子のように酔いつぶれなかった。昇市は困りはてたように受話器をとりあげて、女中に酒の注文をしようとした。だが受話器は、耳もとで金属性の音を連続させるだけだった。その音も昇市の神経を過敏にする音だった。

だけで、このまま朝まで何も知らないまま寝入ることが出来るだろうと感じた。だがそれは出来なかった。貞子がまだ寝入っていないから。昇市は疲れた体を横たえ、貞子よりも早く今日ばかりは眠れないという重荷とたたかひながら、一心に眠さたかた。苦しさを体中で感じた。貞子は疲れを知らないのだからかと思つた。そして貞子の疲れを増すようにしなければならぬと考へた。もう一度風呂に入ることを考へ、それでもだめならば今一度ビールを飲ませることを考へた。

湯舟にはまだきれいな青い湯

紙屑の街で

豊田 満

生きていしものか十字路の風に揺れ新聞紙のように猫の骸は砂と風に破れそれぞれの色あせて吹かれ吹き溜り紙が泣いて

あさましく彩り描きし希ひもあはれ紙屑は踏まれ空へ飛ばされ

うそ寒く街路街にひっかかりすべもなし紙屑よゴム風船よあ少年の日よ

が満たされていた。貞子より一足おくれて自分も入り、初めて夫婦混浴をこころみだ。怪しさが湯気と共に昇市の胸におそつて来た。けれどもこれ以上自分を疲れさすことをさける為に、貞子よりも先に湯から上つて、女中にビールを注文して、待っていた。まもなく貞子があがつて来た。そしてビールも持って来たので、二度目のささやかな酒盛が始まった。昇市は自分があまり飲むことをさけるようにして、貞子にそれを飲ませようとした。貞子の顔は桜色からもつと赤さを増して、酔いつぶれてしまった。昇市は成功したとい



なので、もう起きなければならぬ時刻だと気づき、貞子を起し、自分は洗面に立って行った。部屋の光が昇市においすがるように、明るさを増していった。歯磨を使っている昇市にはそのさわやかな朝の光が、あまりにも早くおとすれたように思え、顔を洗つてもいつもの自分であるという感覚が遠のいてい

武 本 忠 博 (尼崎市西桜木町八三番地)
中 崎 サチ子 (天王寺区堂ヶ芝町一〇三、湯川胃腸病院内)
平 岡 洋子 (天王寺区堂ヶ芝町一〇三、湯川胃腸病院内)

友の会新入会者 (十一月度)

田 中 庄 吉 (東住吉区茨田矢田部六七七)
亀 谷 昭 美 (同徳野区同徳野筋七の六)
妹 尾 啓 子 (泉北郡高石町南三五八の二五)

編集室から

史がスタートしました。十二回連続の予定です。写真ペーじも毎号斬新な企画で、清新なトピックを、あるいは古い歴史を掘り起こして行こうと和田恵津子カメラマンが腕を振っております。

○：新年特集として、他府県で活躍されている大阪出身者にアンケートを求めたところ、多忙な中を六十八氏が回答を寄せて下さいました。そのうちほとんどの方が、大阪に帰り住む意志はないとのこと。ビジネス都市としての機能だけが追究され、発展し、人間の「暮らし」が一日一日と圧迫されているためもありましようが、なんとなく寂しいことです。ともあれ、今後とも各界での御活躍をお願いする次第です。

1つの保険で10の安心!

住宅総合保険
火災、盗難、衝突、傷害、爆発、など10種の損害を補償

同和火災海上

本店・大阪市北区神明町61